

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

吉田 光一 会長 年度テーマ
よりハイレベルに！
例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000
例会日時 木曜日 12:30
クラブ会報広報委員長 成田 勝彦



2008-09 年度 R.I 会長
李東建(リー・ドンカン)

承認 1995.3.28
会長 吉田 光一
幹事 西川 博
事務局 名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号
TEL 052-263-1324
FAX 052-263-0730
Email seinan1@fancy.ocn.ne.jp
HP http://rc.nagoya-seinan.org/

第650回 例会 No.18 平成 20年11月6日(木) 晴

ロータリーソング 「君が代」「奉仕の理想」
出席報告 会員54名中39名出席
出席率 78.00% 出席計算人数 50名
修正出席率 10月23日 95.92%
スピーカー 藤田守彦さん

会長挨拶

吉田光一



ヨーロッパの人々が憧れた、日本の花「ユリ」。我が名古屋丸の内ロータリークラブのシンボルフラワーでもあります。伊能忠敬の日本地図を持ち出そうとした事件でも知られる、オランダ商館医師・シーボルトは、プラントハンターでもありました。

植物学に基づいた「ボタニカル・アート」を日本人絵師に教え、自らも採集し、のちに欧州の園芸界にジャポニズム・ブームを引き起こしたのであります。

日本は植生の豊かな国であります。欧州に自生する植物の種類が数百の単位なら、日本は数千、約10倍といわれます。

江戸の鎖国期、長崎・出島を訪れた欧州人は、四季ごとに咲く数々の花に驚き、それを自分の国に紹介したいと考えました。

なかでも自然科学の知識があったオランダ商館医師のフィリップ・フランツ・フォン・シーボルトは、彼以前に欧州へ日本の植物を紹介した17世紀のケンペルと18世紀のツンベルクが出島からほとんど出る事が出来なかったが、江戸末期に来日したので恵まれていました。

西洋医学の必要性を痛感していた幕府は、出島に程近い鳴滝にて塾を開くことを許可する。シーボルトはここで医学や自然科学の講義をした一方、塾生の手を借り、植物標本や植物画を収集したのであります。

1829年の鎖国時には2000種の植物、1万2000本の標本とアルコール漬けにした植物、種や球根などを持ち帰りました。中でも日本の友人から贈られた1000点を

超える植物画を入れてシーボルトが編集したのが、植物誌「フロラ・ヤポニカ」である。

鎖国が解かれると、海外から多くのプラントハンターが入国しました。そのひとり、ロシアの植物学者 カール・マキシモヴィッチは、1860年から4年間日本各地で植物調査を行って、シーボルトの死後売りに出された植物画コレクションを自国が購入するよう尽力、現在そのすべてがロシア科学アカデミー・コマロフ植物学研究所図書館に所蔵されています。

シーボルトが球根を持ち帰り、初めて欧州に紹介した「カノコユリ」は園芸雑誌で「美しさにおいて最高のものがあるとすれば、それは間違いなくこの花である」と絶賛されました。

この日本と欧州の園芸文化の架け橋役としても活躍したシーボルトが世界に広め、最高と云われる花「カノコユリ」こそ我名古屋丸の内ロータリークラブのバナーの中心に凜と輝いております。又、「名古屋市の花」でもあります。

ここまで調べて、バナーの中心にユリをデザインされた水野裕善御夫妻の蘊蓄の深さに最高の敬意と改めて御礼を申し上げます。

来週は国際奉仕としての支援先「カンボジア」ってどんなところかをお話させて頂きたいと思っております。



ニコBOX

本日は財団月間に因み、地区ロータリー財団副委員長の藤田守彦さんに卓話をさせていただきます。宜しく願い申し上げます。吉田会長、西川幹事、渡邊直前会長、岩田、桑原、池井戸、二俣、松尾、後藤 敬、水野、安江、近藤、藤野、加藤満男、成田、河原、森田、植木、中川(敬称略)

藤田さん 本日ロータリー財団についての卓話をさせていただきます。よろしく願います。

田島さん 桑原さま、ゴルフではお世話になりました。まるでタイガーウッズのようでした。

本日合計 69,000円

第5回クラブフォーラム

「財団月間にちなんで」

地区ロータリー財団副委員長 藤田守彦



ロータリー財団委員会からのお知らせ

ロータリー財団委員長 石井里恵子

ポリオ撲滅のため、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団との「1億ドルチャレンジ」にご協力をお願い致します。一人1,000円を3年間継続で集めます。(地区協力事業)

ROTARY JAPAN WEB からの転載

ポリオ撲滅への闘い

ポリオ、ご年配の方には「小児まひ」といった方がわかりやすいかもしれませんが、かつて、日本でも大流行をしたことがあります。ポリオウィルスは手や足などにまひを起こさせることがあります。肺の筋肉がまひすると、呼吸ができなくなって死に至ることもありますし、足がまひして歩けなくなることもある恐ろしい病気です。

ポリオ撲滅に向けて始動

1979年9月、国際ロータリーは、フィリピンで、生後3か月から36か月の子ども約600万人に対して、5か年計画のポリオ免疫活動を始めました。これが、ロータリーがポリオ撲滅に取り組んだ第一歩です。

1985年、国際ロータリーでは、ロータリー創始80周年に当たって、「ポリオ・プラス計画」を発表。プラスとは、はしか、ジフテリア、破傷風、百日咳、結核を指しますが、ポリオだけでなく、これらの病気についても予防接種を実施することになりました。1985年は、国連総会で、ユニセフの「予防接種普及事業」推進決議が、国連40周年記念事業となった年でした。当時、各国元首とともに、ロータリーもNGO(非政府組織)として、この決議に賛同、署名しています。

日本では、これに先駆けた1982-83年度、東京のロータリアン(ロータリークラブの会員)たちが、南インドにポリオワクチンを送り、地元のロータリアンと協力して子どもをポリオから救うことを計画し、実行しています。日本国内では、募金総額40億円を最終目標として、1986年7月から、5年計画のポリオ・プラスの募金キャンペーンが始まりました。日本中のロータリアンの積極的取り組み、このキャンペーンが展開されていた1986年7月から1991年6月までの5年間で、目標額をはるかに超える約49億円の寄付金を集めることができました。

国際ロータリーでは、1989年6月までの3年間をキャンペーン期間としていましたが、この間で米貨2億4,700万ドル(約270億円)を集めました。これは目標額の2倍

に相当します。

ロータリー100周年に向けて新たな展開

ロータリーが創立100周年を迎える2005年2月にまでにポリオの撲滅を実現しようと、国際ロータリーでは、2002年に、新たな「ポリオ撲滅キャンペーン」を展開しました。この時点で、ポリオは99%撲滅したといわれていましたが、残りの1%は、紛争地帯やへき地など、ワクチンを投与するのに困難な地域が多く、それまで以上に多くの資金とを必要としていました。目標額は8,000万ドル(約90億円)です。この結果、2003年6月末の時点で、誓約も含めて1億1,150万ドル(約126億円)以上が集まりました。

さて、1979年、ロータリーが初めてポリオの撲滅に乗り出して以来、ロータリアンたちは、もちろんお金を集めていただけではありません。多くのロータリアンが道路もないようなへき地に分け入り、紛争地帯に赴き、実際にポリオワクチンを子どもたちに届けるための活動もしています。紛争地帯では、双方の代表者を説得してポリオワクチン投与のために一時休戦にしたり、宗教上などの理由からポリオワクチンの投与を拒む人々を説得したり、さまざまな活動をしてきました。世界中のさまざまな地域にロータリークラブがあり、ロータリアンたちが活動をしています。それぞれの地域で、ロータリアンたちがさまざまな形で、すべての子どもたちにポリオワクチンの投与をするために努力を続けています。

ポリオとの闘いを終わらせるために

ポリオ撲滅に向けて、ロータリアンたちは努力を重ねてきましたが、このために調達した額は、2007年時点で、6億6,300万ドル(約750億円)を上回ります。

2007年11月26日、国際ロータリーは、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団と協同して、世界ポリオ撲滅に必要とされる2億米ドルを投入することを発表しました。ゲイツ財団から1億ドルの補助金を受領したロータリー財団は、この時点から3年間にこれと同額の資金を調達するための募金活動を行っていくことになっています。

ロータリーは、世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)における予防接種活動を直接支援するために、2007年11月から1年以内に、最初の1億ドルを投入していく予定です。世界ポリオ撲滅推進計画とは、世界保健機関(WHO)、国際ロータリー、米国疾病予防管理センター(CDC)、ユニセフが協同して主導する活動です。

ポリオの残る国は、アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンの、あと4かとなりました。しかし、最後の闘いはこれまでで一番大変な闘いとなるでしょう。日本ではポリオは遠い昔の話になりましたが、世界には、ポリオの後遺症で苦しんでいる人がたくさんいます。グローバル化した現代のこと、ポリオとの闘いを終わらせない限り、日本に、この恐ろしい病気がまた入ってきてしまうかもしれないのです。

街でポリオ撲滅のための募金を呼びかけているロータリアンを見かけたら、ご協力ください。子どもたちが安心して

理事役員会議事録(10・11月)は次号に掲載します。